



SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL



[広報]

わかざくら

W A K A Z A K U R A



60周年記念ロゴマーク

vol.66

2024.5.31



対面式



部活動紹介



遠足



日大DAY



入学式



遠足 (国会議事堂)



総合的探究 最終発表会最優秀賞



総合的探究



能登半島地震募金

目次

入学式	P 2・3
遠足・PTA総会	P 4
各賞受賞者	P 5
大学合格実績・輝く仲間たち	P 6

ホームページ・Instagramはこちら



SANICHI.SS.3987

佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)

<http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/>

入学式にあたって



できるをかさねる6年間

校長 船渡川 重幸

校庭の桜が花開き、今まさに春爛漫の今日の佳き日に、日本大学学長大貫進一郎先生のご名代として、日本大学薬学部学部長の榛葉繁紀様、PTA会長の横井帝之様、市内の小学校を代表して佐野市立石塚小学校校長の木村雄一様のご臨席を賜り、また多くの保護者の皆さまのご出席をいただき、和やかに、そして華やかに、佐野日本大学中等教育学校第15回入学式を迎えられますことを心から喜び感謝申し上げます。

ただ今、一人ひとり名前を呼ばれた新入生の皆さん、ご入学、本当におめでとう。今、皆さんは、これから始まる本校での日々を思い、期待と不安に胸を弾ませていることでしょう。そこで、その期待と不安を胸に抱いたまま、そして前を向いたまま、心の力を使って、周りをちょっと意識してみましよう。

壇上には皆さんの入学を祝って、ご来賓の方々がいらっしゃいます。皆さんの右側には本校の先生方が座っています。後ろには、2年生と3年生の先輩たちが、さらにその後ろには、ご家族の方々が座っています。そして、この式のために、吹奏楽部や合唱部の生徒たち、この放送機材などを操作するスタッフの先生方や生徒もいます。

それでは目と心を、そして意識をもう一度前に向けてください。皆さんは今、心の力で、意識を動かし、入学を祝い、皆さんの姿を見ている大勢の人を確認し、意識しました。その意識の働かせ方が、大変重要なのです。心や意識は目に見えません。しかし、その目に見えない意識こそが、私たちを取り巻くこの世界にあるほとんどの物事の良し悪しを決定するからです。本校での6年間は、皆さんの感性と知性を大きく成長させるための大切な意味を持った時間になるでしょう。

さて、皆さんが卒業した小学校にも「教育目標」があったように、本校には日本大学の教育理念である「自主創造」の精神に基づいて、「磨こう心」「輝く知性」「拓こう未来」の三つの目標が掲げられています。この教育目標の下、本校で6年間を過ごすにあたり、皆さんに三つの大切な話をいたします。

まず一つ目は、「自分を大切にすると共に、自分の周りにいる友達も大切にすると共に、自分の周りになる」ということです。野原に咲く草花は、色も香りも形もそれぞれ違います。同じようにここに集まっている新入生も誰一人同じ人はい

ません。そして、今皆さんはさまざまな色を秘めた大切な蕾です。将来一人ひとり違った香りを持ち、それぞれの鮮やかな花を咲かせることになるのです。それは、自分とは違う価値観や考え方、モノの見方があるということをお認めることでもあります。だからこそ「みんな違うんだ」ということを受け入れる、つまり多様性を尊重する、「しなやかで豊かな心」を育ててください。

二つ目は、「志と目標を持って何事にも挑戦する生徒になる」ということです。夢や希望は誰でも持つことができます。しかし、それを達成するためには「志と目標」がなければなりません。私は、本校での教育活動を通して、志と目標を持ち、具体的に動く人を育てたいと思っています。志とは、まさに「心の指す方向」です。その心や意識は、選択と集中によって磨かれ、より良い方向に向かう人が育まれていきます。私は、そういう人を育てたいのです。若い時代に、様々な考え方に触れ、優れた知識を学び、美しいものも、時にはそうでないものもしっかりと見、そして多くのトライ＆エラーによって、私たちの意識は磨かれるのだと思います。くり返します。意識は、「選択と集中」によって強い力を生みます。何を見、何を選択し、何に集中するかが大切なのです。皆さんは、6年間の本校での学校生活の中で多くの経験をします。楽しい経験も、そして試練も、皆さんが意識の働かせ方を、心の使い方を、そして志を持つことの意義を学ぶチャンスになるのです。皆さんは、失敗など恐れることなく、いろいろなことに、積極的にチャレンジしてください。志と目標がある生徒は一日一日の生活が活き活きとしてきます。

三つ目は、「世界に羽ばたく人になってほしい」ということです。本校では、グローバル教育を積極的に推進しています。その前提として英語教育と体験教育を特に重視しています。本校は海外にいくつもの姉妹校・提携校を持っており、6か年を通して様々な海外フィールドワークプログラムを設定しています。それは、将来皆さんが多様な人々と対等にコミュニケーションをとったり、仕事をしたり、競い合ったり、学び合ったりするための土台を作るためなのです。皆さんの積極的な取り組みを期待しています。

新入生の皆さん。皆さんが6年後、今度は卒業生として輝いて再びこの場所に座るときに、自分の心の成長にとって意味のある、素晴らしい6年間だったと思えるような、本校での充実した日々を過ごして下さい。

結びに、保護者の皆様。お子様のご入学、誠におめでとうございます。今日からお子様たちを、責任をもってお預かりいたします。お子様たちのよりよい未来に向けて、私ども、教職員一同、全力で教育の充実に取り組んで参ります。6年間、どうぞよろしくごお願い申し上げます。式辞といたします。

厳かに 入学式行われる

4月6日（土）、桜の花も美しい、新入生を祝うような晴れやかな青空のもと、入学式が挙行された。



新入生代表の齊藤暖人さん（邑楽・中野小）が誓いのことばを述べた。齊藤さんは、第16代アメリカ大統領エイブラハム・リンカーンの「意志あるところに道は開ける」という言葉をあげ、「強い信念を持って挑み続ければ、何事も成功につながる。自分も失敗を恐れず多くのことに積極的にチャレンジし、有意義な六年間を過ごしたい」と述べた。

総合的探究最終発表会

3月11日（月）、P40にて総合的探究最終発表会が開催された。日本大学の各学部の先生方をお招きし、8つの研究テーマからそれぞれ代表に選ばれたグループが堂々と発表を行った。

本年度は1年生から4年生の生徒がSDGsから8つの研究テーマを選択し、それぞれの興味・関心



によるグループを作り、日本大学の先生方からのアドバイスをいただきながら探究を進めてきた。文化祭でのポスターセッションや中間発表会での評価活動を通して、それぞれの探究内容を見直し、この日の発表の運びとなった。審査の結果は次の通り。

最優秀賞

マイノリティー 「私たちは発達障害を知らない」

優 秀 賞

健康福祉 「芸術が超高齢化社会を救う?!」

エネルギー 「資源を無駄にしないために」

なお、今年度は1・2年生は探究活動の進め方を学び、3～5年生は本校教員が提示したテーマから自身が探究したいものを選択し、より深い探究活動を行うことを目指す。



中等教育学校のおもな分掌

校 長	船渡川重幸
教 頭	大島 宏之
副 教 頭	菊地 秀明
主 事	柏倉 豊 中井 啓之 田中 博
高校・中等事務長	細田 晃良

退任教職員

大澤 克至 教諭（国語）
荒井奈津美 事務職員

新任教職員

皆川 力也 教諭（理科）

中等教育学校 担任一覧 *学年主任

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1組	丹野 隆史*	今泉 詠吉*	大橋 優生*	八下田久美子*	松岡 洋平*	山内 貴光*
2組	遊佐 幸司	中崎 英寿	長谷川さおり	平川 竣一	島田真理子	山中 健



PTA 定期総会開催 役員改選行われる

5月24日(金)、PTA 定期総会が開催された。当日は、授業参観や学級懇談会も実施され、担任から学年および学級運営についての説明などを行った。

【本部役員】

PTA 会長 横井 帝之 (佐野・足利)
 副会長 本庄 広大 (佐野・足利)
 印出 和幸 (茨 城)
 穂積 昌信 (群 馬)
 松田 紫乃 (埼 玉)
 小平 修三 (栃 木)
 理 事 小倉 重人 (佐野・足利)
 南川 千里 (群 馬)
 宮崎 忠利 (栃 木)
 監 事 今吉真由美 (栃 木)
 矢内 和代 (埼 玉)
 会 計 片柳 容子 (群 馬)
 横田 誠 (佐野・足利)

【学年役員】

6 学年部長 稲葉 麻貴 (佐野・足利)
 6 学年副部長 小島 利之 (埼 玉)
 小泉 仁史 (佐野・足利)
 5 学年部長 横田 誠 (佐野・足利)
 5 学年副部長 神山 昌久 (佐野・足利)
 岡田 裕美 (佐野・足利)
 4 学年部長 長谷川信夫 (佐野・足利)
 4 学年副部長 小野瀬泰弘 (栃 木)
 岸 希 (栃 木)
 3 学年部長 今吉真由美 (栃 木)
 3 学年副部長 堀田 礼子 (茨 城)
 佐野 可子 (佐野・足利)

2 学年部長 寺内 奨 (佐野・足利)
 2 学年副部長 平野 貴之 (栃 木)
 福地 麻岐 (群 馬)
 1 学年部長 押山 寿 (佐野・足利)
 1 学年副部長 斉藤 純 (群 馬)
 五月女慎人 (栃 木)

【支部長】

佐野・足利支部長 亀田由美子 (佐野・足利)
 栃木支部長 宮崎 忠利 (栃 木)
 群馬支部長 横田真貴子 (群 馬)
 茨城支部長 岩間 美夏 (茨 城)
 埼玉支部長 佐藤ひとみ (埼 玉)



令和5年度 修了式各賞受賞者

佐野市長賞



岩上 拓翔
(佐野・界小)

セカンドステージ最優秀賞



神山 美優
(4年・佐野・犬伏東小)

セカンドステージ優秀賞



本庄 与冴
(4年・足利・山辺小)

前田秀樹賞



安斎 成海
(フェリーチェ玉村国際小)

ファーストステージ最優秀賞



赤堀 伊織
(2年・フェリーチェ玉村国際小)

ファーストステージ優秀賞



神山 実穂
(2年・栃木・栃木中央小)

三か年皆勤賞

長谷部 蓮 (羽生・岩瀬小)
堀越 結衣 (ぐんま国際アカデミー初等部)
嶋村 美月 (行田・太田西小)
嶋森 蓮 (小山・間々田小)

三か年精勤賞

岩上 拓翔
片山 颯也 (宇都宮・築瀬小)
小林 瑠花 (足利・東山小)
佐藤 柚希 (加須・志多見小)
長 姫妹有 (栃木・家中小)
横山恵莉花 (久喜・本町小)
清水 柚希 (佐野・あそ野学園義務教育学校)
長柄 晃明 (館林・第六小)
長谷川結子 (足利・矢場川小)
比留間 慶 (羽生・羽生南小)
矢幅 涼 (小山・小山城東小)
米山亜莉沙 (久喜・栗橋南小)

奨励賞

フェンシング
仙田 一真 (栃木・小野寺小)

栃木県中学校体育連盟体育運動有望生徒賞

サッカー部
安斎 成海
フェンシング
仙田 一真

栃木県中学校体育連盟体育運動優良生徒賞

バスケットボール部
仙田 一真

サッカー部
安斎 成海

佐野市中学校体育連盟優秀選手賞

サッカー部
安斎 成海

軟式野球部

横田 悠 (佐野・田沼小)

水泳部

山野井梨乃 (太田・鳥之郷小)

佐野市中学校体育連盟運動優良生徒賞

浅見 奏人 (幸手・さくら小)
保村 英太 (羽生・手子林小)

栃木県合唱連盟賞

西村 香風 (久喜・東鷲宮小)
山崎 優花 (大泉・北小)

佐野市中学校文化連盟芸能・文化活動優秀生徒賞

合唱部

西村 香風
山崎 優花

部活動功労賞

サッカー部
安斎 成海

合唱部

西村 香風
山崎 優花

部活動努力賞

男子バスケットボール部
岩上 拓翔

小池航太郎 (熊谷・熊谷東小)
仙田 一真

女子バスケットボール部

堀越 結衣
伊藤 心優 (太田・鳥之郷小)

萩野 綾花 (太田・旭小)

清水 柚希

舟崎 悠 (さいたま・美園小)

米山亜莉沙

サッカー部

岸 良磨 (栃木・吹上小)

剣道部

長谷部 蓮

軟式野球

卯月 悠太 (羽生・羽生南小)

横田 瑛斗 (館林・第一小)

横田 悠

男子ソフトテニス部

浅見 奏人

片山 颯也

瀬川 陽心 (栃木・西方小)

岸 眺希 (佐野・植野小)

高澤 颯 (館林・第六小)

比留間 慶

保村 英太

柳原 拓 (さとえ学園小)

女子ソフトテニス部

小林 瑠花

高橋ひなの (足利・矢場川小)

長谷川結子

水泳部

山野井梨乃

美術部

五十嵐はる (館林・第一小)

佐藤 柚希
嶋村 美月

和太鼓部

長 姫妹有

横山恵莉花

齋藤 建

ディベート部

嶋森 蓮

砂原 一貴 (足利・御厨小)

茶道同好会

矢幅 涼

優勝監督賞

軟式野球

都鳥永資

学校後援会表彰

陸上部

赤坂 優光 (1年・佐野・出流原小)

書道同好会

神山 美優 (4年・佐野・犬伏東小)

神山 実穂 (2年・栃木・栃木中央小)

フェンシング

仙田 一真

日本大学スピーチコンテスト

人見 香音 (4年・佐野・犬伏東小)

※学校後援会表彰は全学年が対象となります。
※学年表記は昨年度のもので、
※学年表記がないものは3年です。



2024年 大学合格実績

令和6年3月
卒業生52名

卒業生は、授業を中心とした学習に、各種セミナーや課外授業などに積極的に参加し、それぞれの進路を決定した。

医歯薬獣医看護系学部 36名合格!

日本大学・獨協医科大学・東京女子医科大学・金沢医科大学
慶応義塾大学・東京理科大学・東京薬科大学・順天堂大学
星薬科大学・自治医科大学・北里大学・酪農学園大学 等

日本大学の各学部へ 付属推薦制度 & 一般入試を合わせて **69名合格!**
国公立・早稲田・慶応・東京理科・MARCH等 4年制大学へ **61名合格!**

(既卒生も含む)

輝く仲間たち

第60回全日本書初め大展覧会

日本経済新聞社賞

横田 樹音

(2年・館林・第一小)



第42回全国橋花書道展

条幅の部 館林市議会議長賞

横田 樹音

第40回成田山全国競書大会

特選・月輪賞

神山 実穂

(3年・栃木・栃木中央小)



能登半島地震募金活動 生徒会

1月1日(月)に発生した能登半島地震の支援として、生徒会役員が全校生徒に呼びかけ、募金活動を行った。3月16日(土)の修了式では、募金活動の報告と能登半島地震について生徒会長の宮崎高虎さん(5年・栃木・栃木中央小)がスライドを用いて生徒たちに説明を行った。今も苦しい生活を強いられている方々にできることを考え、実行していきたいと語った。



高大連携 日大 DAY 開催!

今年度の日大 DAY が4月20日(土)・27日(土)の両日で開催された。高大連携教育の一環として行っている本行事は、4~6年生とその保護者を対象に、日本大学の各学部から学部長の先生方を講師としてお招きしての学部説明会である。20日はプラザ40で法学部・経済学部・文学部・商学部、会議室で歯学部・松戸歯学部・芸術学部・危機管理学部の説明会が、27日はプラザ40で理工学部・工学部・生産工学部・国際関係学部・生物資源科学部、中等教育学校体育館でスポーツ科学部・薬学部・医学部の説明会が行われた。



編集
後記

総合的探究の時間がリニューアルされ、生徒の興味関心に応じてテーマを突き詰め、より深く探究活動を行うことができるようになった。もちろん、日本大学との連携もさらに進められ、今年度は理工学部や薬学部などの学部でフィールドワークも開催される。好奇心は学びの第1歩。自分の胸に芽生えた「なぜ」を大切にしていこう。(長谷川 記)

広報 わかざくら VOL.66

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111(代) <https://ss.sano-nichidai.jp/>